

II 分析項目

1 生活実感の分析

各質問に対する回答者の分類ごとにおける回答割合の違いをわかりやすくするため、帯グラフを並べて図示するとともに、特徴的な部分をコメントしている。

図表の見方

①有効回答数

「そう思う」、「どちらかというと思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」、「無回答」の合計数としている。

②回答者の分類

○世代別・性別

20代男性と30代男性を「若年層男性」、20代女性と30代女性を「若年層女性」、40代男性と50代男性を「中年層男性」、40代女性と50代女性を「中年層女性」、60代以上の男性を「高年層男性」、60代以上の女性を「高年層女性」として6つに分類している。

○居住区別

京都市の11の行政区に分類している。

なお、世代別・性別や居住区が回答されていないデータは除外している。

③回答項目の分類

「そう思う」及び「どちらかというと思う」を「肯定的な回答」とし、「どちらかというと思わない」及び「そう思わない」を「否定的な回答」とし、「どちらとも言えない」及び「無回答」は、そのまま独立して取り扱っている。

④市全体との比較

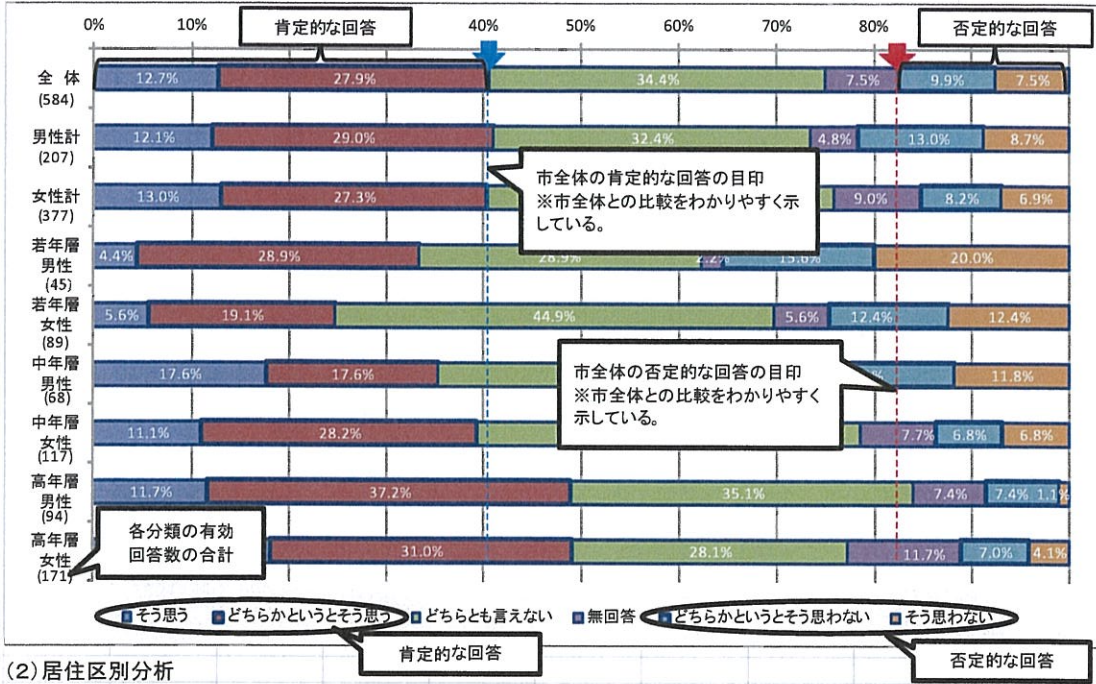
市全体における「肯定的な回答」の平均値と市全体の「否定的な回答」の平均値それぞれから矢印をおろし、市全体と回答者の分類との比較をわかりやすく示している。

なお、すべての数値の小数点は下2ケタ目を四捨五入し、下1ケタまで示した。その結果、合計が100.0%にならないことがある。

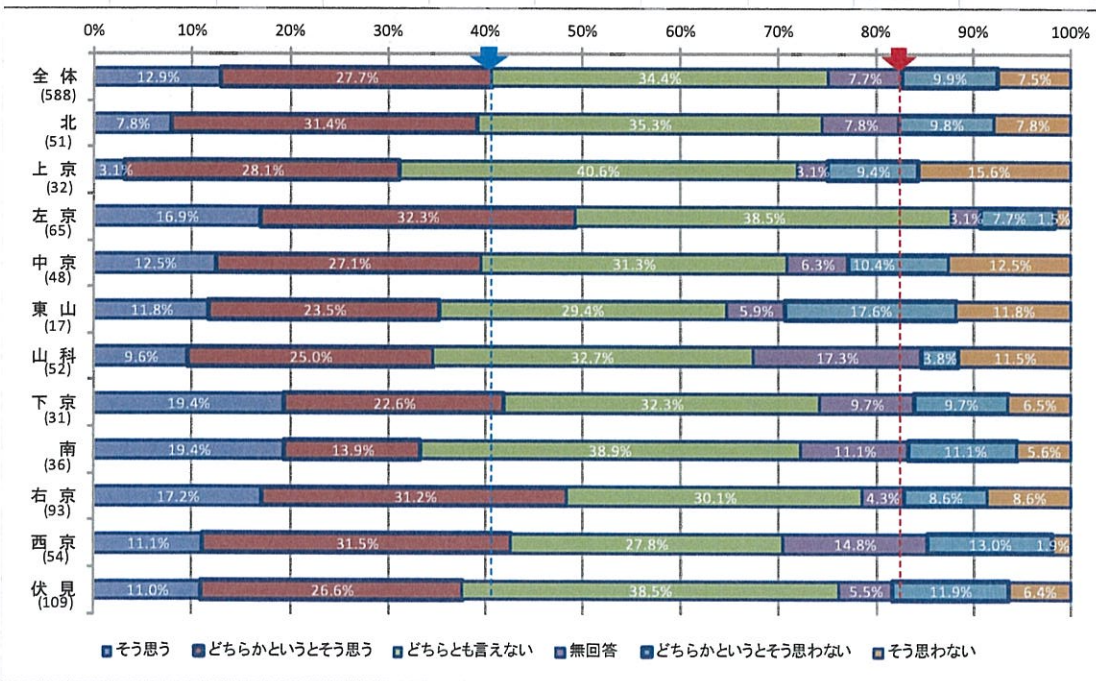
(参考1：図表の見方)

1 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析



(3) コメント

全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層女性及び高年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性、中年層男性及び若年層女性において高かった。

居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、左京区及び右京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区、上京区及び中京区において高かった。

コメントの見方

生活実感に対する分析結果の特徴的な部分を以下の順番で記述している。

①市全体の回答

「肯定的な回答」、「否定的な回答」、「どちらとも言えない」、「無回答」の中で数値が最も大きかったものを「割合が最も高かった」と記述している。特に「肯定的な回答」の数値が70.0%よりも大きい場合は「数値は70%を超えた」とし、また「否定的な回答」の数値が40.0%よりも大きい場合は「40%を超えた」と特記している。

②性別の比較

「肯定的な回答」及び「否定的な回答」とも、男女において5.0%以上の差がある場合は「回答の割合が高かった」と記述している。数値が5.0%未満の場合は「大きな差は見られなかった」と記述している。さらに、5.0%以上の差がある場合において、「肯定的な回答」が80.0%よりも大きいものは「数値は80%を超えた」とし、また「否定的な回答」が50.0%よりも大きいものは「数値は50%を超えた」と特記している。

③世代別・性別の比較

「肯定的な回答」及び「否定的な回答」とも、市全体の回答割合の数値と比べて5.0%以上の差がある場合は「回答の割合が高かった」とし、数値が5.0%未満の場合は「大きな差は見られなかった」と記述している。さらに、5.0%以上の差がある場合において、「肯定的な回答」が80.0%よりも大きいものは「数値は80%を超えた」とし、また「否定的な回答」が50.0%よりも大きいものは「数値は50.0%を超えた」と特記している。

④居住区別の比較

上記「③世代別・性別の比較」と同様に記述している。

なお、本コメントにおいては、得られた回答の客観的な数値のみを取り上げており、その背景や原因まで言及していない。「I はじめに」にも記述しているとおり、その背景や原因については、各担当部署において検討していただき、今後の事業計画に生かしていただきたい。

(参考 2 : 世代別・性別の回答状況)

(A票) 分類名	有効回答数 (584)	構成比
男性の合計	207	35.4%
女性の合計	377	64.6%
若年層男性 (20歳代+30歳代)	45	7.7%
若年層女性 (20歳代+30歳代)	89	15.2%
中年層男性 (40歳代+50歳代)	68	11.7%
中年層女性 (40歳代+50歳代)	117	20.0%
高年層男性 (60歳代以上)	94	16.1%
高年層女性 (60歳代以上)	171	29.3%

(B票) 分類名	有効回答数 (538)	構成比
男性の合計	225	41.8%
女性の合計	313	58.2%
若年層男性 (20歳代+30歳代)	45	8.4%
若年層女性 (20歳代+30歳代)	76	14.1%
中年層男性 (40歳代+50歳代)	66	12.3%
中年層女性 (40歳代+50歳代)	101	18.8%
高年層男性 (60歳代以上)	114	21.2%
高年層女性 (60歳代以上)	136	25.2%

(参考 3 : 居住区別の回答状況)

(A票) 区名	有効回答数 (588)	構成比
北	51	8.7%
上京	32	5.4%
左京	65	11.1%
中京	48	8.2%
東山	17	2.9%
山科	52	8.8%
下京	31	5.3%
南	36	6.1%
右京	93	15.8%
西京	54	9.2%
伏見	109	18.5%

(B票) 区名	有効回答数 (542)	構成比
北	37	6.8%
上京	23	4.2%
左京	60	11.1%
中京	41	7.6%
東山	15	2.8%
山科	51	9.4%
下京	37	6.8%
南	40	7.4%
右京	63	11.6%
西京	62	11.4%
伏見	113	20.8%

